

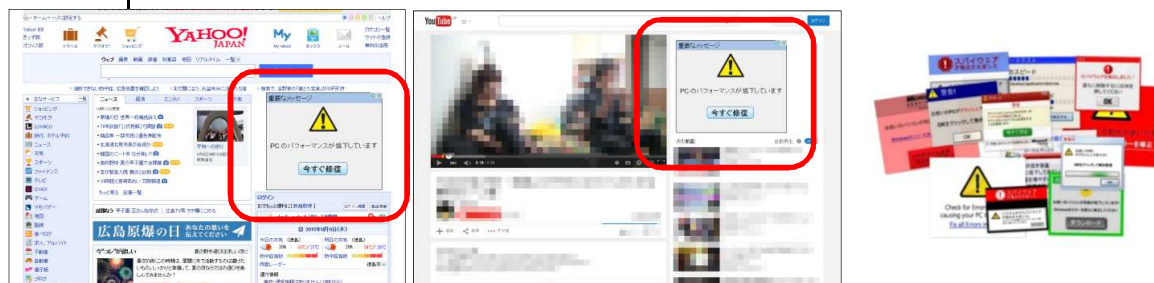
偽セキュリティソフト詐欺の手口

・パソコン使用者の手によって導入されるケース(その1)

無料ソフトや、動画サイトなど広告が表示されるウェブサイトへアクセスした際に、「このPCはウイルスに感染している」「このPCは危険にさらされている」などといったバナーやポップアップで関心を引き、うっかりクリックをすれば全く効果のない偽のセキュリティソフトがインストールされます。

詐欺的被害以外にはあまり障害もなく、能動的に導入しているためウイルス対策ソフトではほとんど検知されません。

・ウェブサイトの表示例(PCのパフォーマンスが低下しています)



※画面は合成です。

通常Yahoo!JAPANのトップページでこの手の広告が表示されることはありません。

もしYahoo!JAPANのトップページで表示される方はウイルスに感染しています。

Youtubeでは表示されることがあります、くれぐれもご注意ください。

・パソコン使用者の手によって導入されるケース(その2)

無料ソフト(特にDVDコピーや動画ダウンロードなど、良くないとされる行為のための)を、パソコンに導入する際に抱き合わせでインストールされるものがあります。

主に、ソフトのインストール時に画面をよく確認せずに「次へ」や「Next」を連打して早く済ませようとする人がターゲットです。

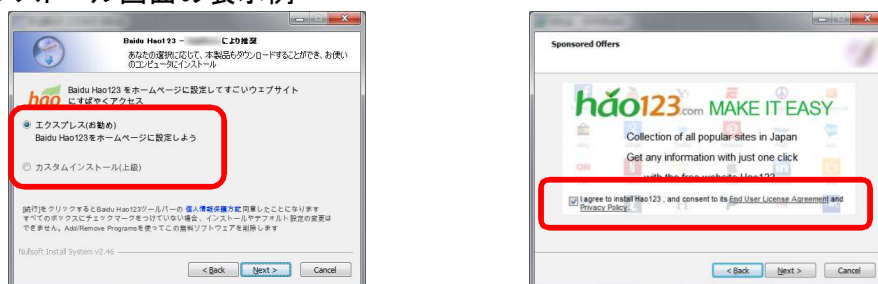
インストール画面が英語や他言語の場合、なおさら読まないでしょう。

しかしインストールを落ち着いて進めると、最中に「一緒にいかが?」と言わんばかりの画面が表示されて、おおかた初めから☑になっています。

☑していることから望んで導入したソフトとなるわけですから、ウイルス対策ソフトではほとんど検知されません。

※まれにそのような画面なしに、強制的にインストールする悪質なソフトもあります。

・インストール画面の表示例



・セキュリティの脆弱性を利用して導入されるケース

Windowsやインターネットを利用するソフトのセキュリティの脆弱性を修正していない場合、その脆弱性を突く仕掛けのあるウェブサイトを開くだけで、偽の警告画面を表示するウイルスを仕込まれるケースもあります。

Windowsやソフトのアップデートは欠かさないことはもちろんのこと、日頃からの意識が重要です。

結果

いずれの場合も偽セキュリティソフトは適当なエラーを表示させ、あたかも無料で修復ができるようなそぶりをひとまず見せます。その後、修復できなかった旨のメッセージを表示し、有料版ならば修復ができるとして購入を促そうとします。

最悪の場合、パソコン自体を操作できなくしてお金を支払うしか方法が無いように見せかけるものもあります。(ランサムウェア)

当然、オンライン決済の常識であるクレジットカード決済を促され、使用者が自ら入力したカード番号や個人情報があるまま悪用されるのです。

なお、お金を支払っても多くの場合、パソコンが修復されることはありません。間違っても情報を入力したり、記載の連絡先にアクセスしたりはしないよう注意してください。